

「〇」(わ) 2018年号
平成4年(1992年)11月創刊
平成30年(2018年)10月発刊
通刊第27号



編者：武蔵大学剣友会
編集：桑原 則行
発行：武蔵大学剣友会

平成29年度剣友会総会開催

平成29年度総会が去る6月30日に執り行われました。総会の中で、平成30年度新三役新組織、活動計画並びに予算が可決されました。

会長 佐藤則夫（昭和51年卒）新任
副会長 笹岡秀次（昭和51年卒）新任
副会長 田中礼子（昭和50年卒）新任
幹事長 高田 壽（昭和51年卒）留任
剣道部師範・指導部担当兼任
女子部会担当

剣友会四代目会長に 佐藤則夫先輩



この度、武蔵大学剣友会
第四代会長に就任致しまし
た佐藤則夫です。

武蔵大学剣道部の歴史を遡れば、初代
剣友会会長長谷川勲先輩（高校31期卒）
の尽力により昭和36年に剣道部が発足し、
初代剣道部部长に伊能敬教授（高校18期
卒）が就任。それから早60年が経とうと
しています。今や剣道部OB・OGの会
員数も300名余りに達しております。
その中で剣道部員の心の礎となっている
のは、諸先輩方並びに先生方の寛容の教
えによる所が大だと思えます。

私を含め年配の先輩方にあっても忘れ
えぬ旧制の諸先輩方、根津嘉一郎先輩、
大野健雄先輩、野中忠夫先輩、武安義光
先輩、中谷林太郎先輩、打木城太郎先輩

紙面の関係でこのへんで止めますが特に
これらの先輩方と知り得たことが、私に
とっても大きな人生の財産に成っており
ます。日曜の稽古会、ジャパンエナジー
六本木クラブでの懇親会にて40年前の日
本の政財界のトップクラスの方々と武蔵
の剣道部という絆だけで、若輩の私共と
親しく得難い会合を重ねて頂きました。
その当時は、余り実感してませんでした
が、旧制武蔵高の凄さは、戦前に東大合
格で天下の一高を抜いた事もあったそう
ですから、成程その凄さに驚きを覚えます。
さてここで、私事を申しますと昭和47
年に剣道部に入部し四大新人戦（二年優
勝）、関東、四大戦（三年、四年優勝）、
東都（三年、四年優勝）等の試合の数々
を関根日吉師範の指導のもと、厳しい稽
古の御蔭をもちましてある程度の戦歴を
得られたとおもいます。そんな中あの時
代に、この年65才に成って初めて判るの
ですが、「剣縁」という人生の色々な場面

で出会う絆を育んだ事と、「仲間との和」
という最後の時まで共に歩む剣友を得た
事が、私にとって大変幸せであったと今
にして思う次第です。

これからの剣友会に思いを馳せますと、
昭和、平成とそして次なる新年号に至る
訳ですが、時を同じくして当武蔵大学剣
友会も60周年を迎えることと成ります。
初代武蔵大学剣友会会長長谷川勲先輩（故
人）、二代目会長土屋一徳先輩、三代目会
長紙谷正之先輩、幹事長松井邦夫先輩が
培った「剣縁」「和」の精神を、三つの年
号経て更にこれからも当武蔵剣道部に正
しく、優しく、厳しく継承して行かなけ
ればならないものと思います。

つきましては、会員の皆様並びに諸先
生方に置かれましては、新しい年号と共
に行われます60周年記念事業、年間誌「わ」
並びに「錬心」の編纂事業、剣友会運営
事業等のご協力並びにご協賛を伏してお
願い申し上げます。

最後に、これからの剣友会運営に措き
まして、私会長佐藤則夫（昭和51年卒）、
副会長笹岡秀次師範（昭和51年卒）、副会
長田中礼子先輩（昭和50年卒）、幹事長
高田壽先輩（昭和51年卒）、会計加部雄平
先輩（平成24年卒）等にて運営する中で、
何かと失礼があるうかと思えますが、武
蔵大学剣友会並びに剣道部の今後の発展
と育成に、一同尽力して参る所存ですの
で宜しくお願い申し上げます。

昭和51年卒業 佐藤則夫

新副会長 田中礼子先輩



『女子会連絡係』 拝命

昨今スポーツ界の様々な問題がクローズアップされています。創部以来男子だけの武蔵大学剣道部に約半世紀前、私たち女子学生が初めて入部した時には、いろいろ戸惑うことがありました。全くの初心者ですから先輩方の教え通り毎日道場へ通い、合宿・寒稽古・試合と豊富なメニューを汗だくでこなしました。お陰で卒業時は皆が有段者。しかし何故、あれほど剣道に夢中になれたのか不思議です。

その女子部員も今では一〇〇名近い卒業生を数えるまでに増えました。生活環境の変化などで剣道とは縁遠くなられた方も多い事でしょう。私もテレビで全日本剣道選手権を見るくらいです。まあ、思わず『メーン』と声がかかりますが・・・。

昭和50年卒 田中礼子



幹事長 高田壽先輩



早、十年目

前幹事長、松井邦夫先輩から幹事長職を引き継ぎ早

九年が経ち、十年を迎える。ふさふさとしていた髪の毛も、すっかり無くなりかけ、あと数本が残るのみの自身の容貌であり乍ら、何故か気持ちだけは四十二年前、大学を卒業した時と、余り変わっていない。人生の仕上げをしなければならぬ時期と思えるのだが、一向に進歩と成長が無い証拠だ。剣道部の四年間の出来事が自分の背中辺りに、一生張り付いているのかもしれない。我ながら驚く限りである。

三十年代半ばに、業界の剣道大会に出て、アキレス腱を切断した。以後、剣道が怖くなり二度と竹刀を握ることは無いと決意した。怪我也完治し数年たったある日、この度、新会長に就任した同期の佐藤則夫氏から千葉県鴨川での剣友会春合宿に、しつこく誘われた。警視庁の先生、剣友会の先輩達との「剣縁」が一晩で生まれた。自分の人生の軌道に狂いが生じた瞬間だ。その後の軌道修正に成功したのか、もしくは失敗したのか、未だに説明されていない。

九年間の間に、多数の剣道部員達が社会に旅立って行った。新入生だった部員

が瞬く間に卒業し、地元に戻って立派な剣道の指導者になる者。仕事に没頭する者、家庭を作り新たな人生を歩んでいく者。様々だ。そんな彼らと、数年振りに再会する時は、先輩ゾラが出来る最高の喜びの瞬間だ。

二年前に長年勤めた会社の定年後、縁あり他の会社に再就職した。全力投球の毎日だ。

幹事長の職も、残された数本の髪が無くなるまで全力投球したいと思う。

昭和51年卒 高田 壽

会長離任と御礼



昭和44年卒 紙谷正之
平成9年の総会で、前任の土屋先輩（S39卒）から会長職を引き継ぎ、翌年が武蔵大学剣道部創部50周年でした。剣道部創部、剣友会創設をされた長谷川先輩（S27卒）H17・12ご逝去）が地道に醸成された剣友会の繋がりを強く感じました。

同時に剣道から離れたOBOGの日頃の剣友会との結びつきの難しさも感じました。

在任中の9年間は、この問題を何とか解決したいと考え、組織的には年次ごとの繋がりの強化、在学中の顔の分かる年代グループ創りを奨めました。時代の変

化の中で特に感じたのは、会への関わり方の変化と通信手段の変化とでした。

特に通信手段の変化は、これからの会の在り方を大きく変えるものになっていきます。

会の連絡を考えてみても、近年は携帯電話、Facebook、どれもが簡単に音声・写真・動画が送れることから、過つては様変わりの利便性を感じています。

この流れを剣友会の組織強化に取り入れ、剣友会ホームページの再構築と利用頻度の向上実感を目指しました。それぞれの出来事を写真・動画を流すことで、会員が遠く離れていても同時にその瞬間を感じられると好評でした。近年は更に即時性のあるlineで学生の試合も観られるようになりました。会への協力参加の一助になればと考え、会としてインターネットを活用した更に便利な剣友会独自の物を創ることを望みます。

在任中の心に残る大きな出来事は、就任直後の平成10年の剣道部創部50周年記念事業、そして平成25年の全日本学連剣道剣友大会での【3位入賞】これは武蔵大学剣道部創部50有余年の歴史の中で、【全日本】の冠を得た大会で初めて武蔵大学剣友会が結果を出しました。

これらは、過つて故関根師範が常々お話になっていた【和と生涯剣道】の象徴だと思えます。感慨ひとしおでした。

そして昨年12月6日の剣道部創設者長谷川先輩の突然のご逝去、全国の多くの

方からの哀悼の辞が寄せられました。本年2月24日の偲ぶ会にも60有余名の参加をいただきました。有難うございました。在任中の皆様のご支援と叱咤激励に感謝しながら、後任の佐藤則夫新会長はじめ幹事諸兄姉へのご支援ご協力を切に願って離任の一文とします。

物故者を偲ぶ会報告

武蔵大学剣友会諸兄姉

武蔵大学剣友前会長 紙谷正之
2月24日(土)に長谷川先輩と物故者を偲ぶ会が行われました。

寒さがぶり返した前週と今週の激しい風雨、豪雪のはざままで、春が感じられる中で長谷川先輩の菩提寺 愛染院への墓参と、お寺近くでの偲ぶ会が開かれ、物故者を偲びながらも、40年来の旧交を温める場が懐かしさと楽しい想い出の中で執り行われました。

長谷川家から先輩の妹弟、指導いただいていた西川範士、竹内・松森両先生、剣友会員、50数名の楽しい会でした。大阪から、S39小池兄、S42伊藤兄、北海道からS44野宮兄、S44廣瀬兄等々、学生時代そのままの雰囲気でした。

今回はお寺近くの会場が狭いことから、創部以来のS38年卒の昭和年代を中心にお声掛けしましたが、平成年代からも



10名余が参加しました。当日のお寺での集合写真と偲ぶ会教枚は、武蔵大学剣友会HPに掲載しています。

創部以来の 武蔵大学剣友会物故者

長谷川徹 S37 卒 2017.12 逝去	熊井龍一 S38 卒 2013 逝去	村田洋一 S39 卒 2011.08 逝去	渡辺昭夫 S41 卒 2013.09 逝去
			
奥平敬之 S41 卒 1969.11 逝去	長田弘南 S42 卒 2018 逝去	塚田哲也 S43 卒 2016.04 逝去	谷本正隆 S44 卒 2002.06 逝去
			
石井 亨 S45 卒 1982.12 逝去	小泉修輔 S46 卒 2015.08 逝去	大塚邦夫 S47 卒 2001.12 逝去	内田恒雄 S48 卒 2009.09 逝去
			
福田正人 S53 卒 1980.12 逝去	岡地正純 S54 卒 1984.12 逝去		
			

平成30年2月24日(土)
献杯 合掌

創部以来の恩顧物故者

大学師範 関根日吉 範士 2007.09 逝去	大学剣道部長 伊能 敬 教授 1995.04.07 逝去
	
八段 関根日吉 範士 武蔵大学剣友会顧問 2007.09 逝去	大沢卯之助先生(顧問) 1988.09.05 逝去
	
長山二郎 先輩 全日本剣道連盟 6代会長 1999.06.26 逝去(83歳)	大野健雄 先輩 近畿警察局長官 2008.03.31 逝去(92歳)
	
中谷林太郎 先輩 東京医科大学 教授 2016.08 逝去	前橋仁治 先輩 2011.11.07 逝去
	
野中忠夫 先輩 法務省 参事官 1983.09.05 逝去	牧生敬一 先輩 武蔵学園 専務理事 2010.04.15 逝去
	

昭和62年卒糸井一保兄 秋田よりご報告

このたび秋田県立大曲高等学校女子剣道部は、秋田県総合体育大会剣道競技で50年ぶり2回目の優勝をし、宮城県仙台市で開催された第64回全国高等学校剣道大会に秋田県代表として出場することができました。予選リーグは、矢板中央高校（栃木）と皇學館高校（三重）との組み合わせでした。2校の試合が先に行われ、相手校の試合を見ることができましたが、初戦の矢板中央高校戦では、事前に選手の緊張を解いて試合に送り出すことができず、先鋒、中堅がそれぞれ1本負けをして2-0、有効打突を1本も取得することができず、本来の力を発揮させることができませんでした。2戦目の皇學館高校との試合は、先鋒が延長で出頭面を取って勝利し、3年生の活躍で2-2の大将戦までもっていくことができましたが、本数1本差で負けてしまいチームとしての全国大会勝利はできませんでした。

本校は秋田県南部に位置し、一夜にして80万人近くの人々が来場する日本三大花火大会の一つである、全国花火競技大会『大曲の花火』が開催されることで有名な地域です。『健・律・愛』を校訓とし、108年の伝統をもち、地域の中核を担う高校として文武両道を目指し、頑張っ

ています。剣道部は、これまで地区での優勝はもとより、平成六年（第3回大会）に女子が、平成十八年（第15回大会）に男子が1回ずつ全国高等学校選抜大会へ出場しています。今年の女子メンバーは6人だけでしたが3年生2名、2年生1名が全国中学校剣道大会に出場しており、力のある選手が例年よりも揃いました。しかし、地区大会は優勝できても、全県新人戦、全国選抜予選会では準決勝まで勝ち進んでも、決勝に勝ち上がることはできず、悔しい思いの連続でした。生徒方は打開策を話し合い、朝稽古を始め、校内外で先生方や保護者の方への挨拶の徹底など、日常生活から改善しようとする活動や積極的に行うようになりました。私も生徒個々の性格と能力を考え、このメンバーで優勝するために一番力を発揮できるオーダーを考え実行しました。

本県で3月に行われた魁星旗争奪全国女子剣道大会において、全国選抜大会に出場した沖繩県代表の興南高校、岩手県代表の盛岡白百合女子学園高校に勝利し、茨城県代表の守谷高校には、2-0のスコアで負けてしまいました。県内チーム最高のベスト16に進出できたことが転機となりました。この勝利が生徒方には、全国レベルで勝負できると実感でき、大きな自信となりました。

インターハイの予選となる秋田県総体では、準決勝で前年優勝経験者4人を擁する優勝候補筆頭の秋田商業高校に、粘

りを発揮し1-1から代表決定戦を制し、チーム初の決勝に進出することができました。決勝は、今年3月の全国選抜大会に本県代表として出場した能代高校と対戦し、相手校の先鋒が試合開始早々にアキレス腱を切るアクシデントで不戦勝ちを得ましたが、次鋒が二本負けをして同点となりました。後半で勝負するオーダーにしており、後ろ三人は全国中学校大会に出場している選手を揃えており、個々の役割を存分に発揮し、3-1でのスコアでの優勝でした。

私の剣道部指導は、平成4年から26年目となりました。本校勤務は4年目ですが、昨年までの3年間は体育専門の若い監督が指導に当たり、私は部長として生徒と稽古をしておりました。3月の異動で前監督が転勤し今年度から監督となり指導することになりました。また、生徒1名が国体選手にも選出され、コーチとして愛媛国体にも参加させて頂きました。今年度は私の剣道指導人生において非常に多くの初めての体験をすることができました。このような貴重な経験ができたのも、目標を持って頑張る生徒方と共に活動できたことが一番です。この出会いを本当に有り難く思っています。この経験を今後の指導に生かし、生徒に還元できるように更に頑張っていきたいと思

います。今回インターハイ出場が決まった際には、紙谷会長から即祝福の電話を頂きま

した。8月10日、宮城県の仙台市体育館で行われたインターハイには、菅野昭浩先輩と菅田雅人先輩が会場に駆け付けて頂き、本校の保護者と一緒に応援して頂きました。また、秋山貴幹先輩、同期の井澤義雄君からも激励を頂きました。平成13年1月に第22回3時間立切試合が本県の湯沢市で開催され、私が基立をした際にも、わざわざ剣友会の先輩方が会場に応援に来て頂いたことを思い出し、武蔵大学剣友会の方々の温かさや絆を実感することができました。本当に有り難うございました。



第一回剣友会 ゴルフコンペ開催

去る7月15日(日)に、埼玉県秩父郡皆野町のミツションヒルズC・Cに於いて、第一回武蔵大学剣友会GFコンペが開催された。

剣道だけでなく、ゴルフを通じて剣友会会員の更なる交流拡大を図る事を目的として企画され、S43年卒の先輩からH25年卒の若手剣友までの年代層が一堂に会した。

当日は、熱中症で倒れた方が各地で多く出る酷暑となった一日でしたが、稽古着に防具をつけて夏合宿を経験された諸兄はタフガイの強者。炎天下にも関わらず、無事ホールアウトし、懇親を深めるコンペとなった。

参加者(敬称略)

水木征二	S43年卒	紙谷正之	S44年卒
本間 充	S46年卒	笹岡秀次	S51年卒
高田 寿	S51年卒	大橋一史	S52年卒
五十嵐稔	S55年卒	赤尾嘉一	S57年卒
新子寛幸	S57年卒	古山 淳	S58年卒
桑原則行	S59年卒	知久真基	H25年卒
田中将敬	H25年卒		



「剣友会々費振込先のご案内」

みずほ銀行	渋谷中央支店	(普)	1525324	武蔵大学剣友会
三菱東京UFJ銀行	渋谷支店	(普)	6832924	武蔵大学剣友会
ゆうちょ銀行	〇一九支店	(当座)	192263	武蔵大学剣友会

OB・OG各位のご支援、宜しくお願いいたします。

編集後記

新しい組織による剣友会運営がスタートしました。

剣友会HPに、メンバーの皆さんが役割とともに紹介されております。

三役、副幹事、会計、会計監査、運営幹事、グループ年代幹事、地区幹事、コーチ等、更に剣友会組織に厚みが増したと実感された先輩方も多いのではないのでしょうか。

剣友会の「目的」は、「会員相互の親睦をはかり、併せて大学剣道部の発展を助成すること。」と規約に明記されております。

紙谷前会長をはじめ、今回退任された剣友会役員の皆様方は、その目的を踏まえ、様々な具体策を打ち出されました。

お互い時を同じくして汗を流した、「年代グループ」の構築や、高校生錬成大会への現役支援等により、剣道部員増員に結び付ける、実効性のある多くの貢献をされました。

皆様ご多忙の中、剣友会運営に時間を割き、お骨折りを頂いた労苦を推察すると、頭が下がるばかりです。本当にお疲れ様でした。

60周年記念事業も迫って参りました。留任された役員の皆様、新任の皆様を中心に受け継いだ礎を一層盤石にし、次世代に繋いで行きましょう!今後とも、剣友会会員の皆様方のお力添えを宜しくお願い致します。

(S.59卒 桑原則行)

(糸井さんからのご報告は、昨年頂いておりましたが、紙面の都合により今号掲載になりました事をお詫び申し上げます。)

武蔵大学剣友会 平成29年度
会計報告及び平成30年度予算

平成30年6月30日
武蔵大学剣友会
会計 大竹茂雄



項目	H29実績額	H30予算案
収入の部		
口座振替年会費	923,000	923,000
振込他年会費	130,000	130,000
預金利息	10	10
その他	35,000	0
収入の部合計	1,088,010	1,053,010
支出の部		
高校生錬成大会費用	220,419	250,000
現役へ支払い援助金	160,000	160,000
先生方謝礼	30,000	30,000
夏合宿支援金	63,344	60,000
監督年間交通費	50,000	50,000
OB会扱いOB連絡費他	26,998	30,000
関東学連 年会費	20,000	20,000
東京学連登録料及び大会参加費他	155,000	155,000
東京学連他剣道大会地方参加者交通費支援	60,000	60,000
明治安田システムテクノロジー取扱手数料	22,464	23,000
新聞発行費用	48,600	50,000
鹿島神宮、香取神社 「必勝祈願」初穂料	20,000	20,000
ホームページ管理料	60,000	60,000
昇段 記念品	20,000	30,000
慶弔見舞	18,750	30,000
その他	57,615	50,000
支出の部合計	1,033,190	1,078,000
前年度繰越額	1,023,414	1,078,234
次年度繰越額	1,078,234	1,053,244
平成30年6月30日現在預金内訳		
みずほ銀行 渋谷中央支店	627,703	
三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	306,068	
渋谷郵便局	144,463	
合計	1,078,234	

監査報告書

平成29年7月1日～平成30年6月30日の会計年度における当会の収入、支出に
関し調査した結果、正確であることを認めます。

監査 水木 征二